

令和2年6月4日

さいたま市子ども読書活動推進会議意見書

さいたま市子ども読書活動推進会議を開催するところではございますが、新型コロナウイルス感染症対策等の状況を鑑み、会議の開催を見合わせております。

この意見書は、会議の開催に代わり、各委員の御意見を聴取するために実施するものです。つきましては、以下の6項目の審議内容について御評価いただき、御氏名・御意見を御記入のうえ、6月19日（金）までに御返送くださいますようお願いいたします。

御氏名 _____

1 さいたま市子ども読書活動推進会議座長・副座長の選出

さいたま市子ども読書活動推進会議設置要綱第3条の3の規定に基づき、座長・副座長の選出は委員の互選によるとされています。

つきましては、委員名簿をご覧いただき、座長・副座長を御指名ください。特に御指名のない場合は、事務局（中央図書館資料サービス課）に御一任ください。

※下表のどちらかに○を御記入ください。御指名になる場合は座長・副座長の名前を御記入ください。

<input type="checkbox"/>	座長 [_____]	副座長 [_____]
<input type="checkbox"/>	事務局に一任する	

2 さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）の実施状況の評価

以下の計画内容について、評価を選択し、それについての御意見を御記入ください。

なお、評価は4段階（大いに評価する・評価する・評価しない・まったく評価しない）により行うものとします。

(1) 目標の達成度について

国は「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第三次・平成25年）において、平成24年度の不読率（小学生4.5%、中学生16.4%、高校生53.2%）の割合を今後10年間で半減させること（令和4年度の不読率小学生2.0%、中学生8.0%、高校生26.0%）を目標に掲げました。

これに対し、さいたま市では、令和2年度の不読率を小・中学生0%、高校生31.0%とすることを目標とし、段階的に取り組んできました。

【さいたま市の不読率】

	小学生	中学生	高校生
平成27年度 第二次計画（改定版）最終年	1.8%	1.3%	42.5%
令和元年度 第三次計画4年目	4.4%	10.9%	32.9%

裏面に
続きます

※不読率とは、調査対象の1か月に1冊も本を読まなかったと回答した子どもの割合を示します。
 ※第二次計画（改訂版）平成27年度の読書調査は「読書についてのアンケート調査」により小・中学校各24校、高等学校4校を対象として抽出し、平成27年9月に実施したものです。
 ※第三次計画（平成28年度～）の読書調査は、さいたま市学習状況調査に基づき、小・中・特別支援学校の全児童生徒を対象として令和2年1月に実施したものです。高等学校4校は第二次計画と同様、抽出クラスにより行いました。本計画期間中の4年間の不読率では、小学生4%、中学生10%で推移しており、大きな増減はありません。高校生は当初の40%台から30%台で推移し、10%程良好となっています。

以上のことから、目標の達成度について、どのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。

大いに評価する 評価する 評価しない まったく評価しない

評価の理由

(2) 第三次計画の実施状況について

①家庭における読書活動推進

ア ブックスタートの推進

平成30年度の実施率は、対象者10,282人に対して65.4%となっています。

イ 子育て世代・シニア世代対象の読み聞かせ講座の開催

	実施館	内 容	参加人数
令和元年度	中央図書館	親子で楽しむ読み聞かせ講座	34組
実績	北図書館	おじいちゃん、おばあちゃんも一緒におはなし会	13人

ウ すくすく読み聞かせダイアリー（0～2歳向け読書手帳）の配付

平成30年度までは主に図書館来館者を対象に配付していましたが、令和元年度には、公立保育園61園に0歳児～2歳児を預ける保護者を対象に2,873部配付しました。その結果「子どもといっしょに読書タイム」の啓発につながりました。

以上のア～ウの実施状況についてどのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。

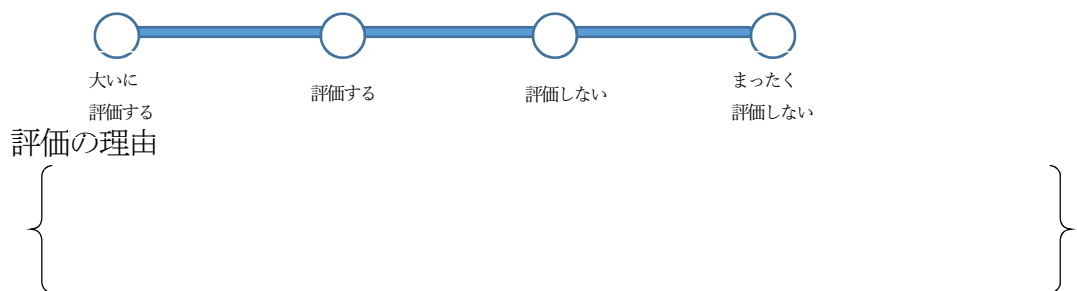
大いに評価する 評価する 評価しない まったく評価しない

評価の理由

②地域の公共施設における推進活動（平成30年度実績）

- ア さいたま子育てWEBなどによる イベント情報の紹介
子育てWEBでの情報提供に対し、年間141万4,639回の閲覧がありました。
- イ 公民館による 読み聞かせやおはなし会の開催
前計画に引き続き、市内59館のうち、18館の公民館が絵本の読み聞かせ等の活動を実施しました。
- ウ 児童センターによる 読み聞かせやおはなし会の開催
本計画の新たな取組として、市内全ての児童センター18館で絵本の読み聞かせ等を実施しました。
- エ うらわ美術館による 本を用いた出張授業の開催
小学校25校・2,760人の児童を対象に、うらわ美術館学芸員が行う絵本や、造形的に芸術性の高い本を用いた鑑賞学習授業が、学校を会場にして開催されました。

以上のア～エの実施状況についてどのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。



③図書館における推進活動

- ア 中・高校生を対象とするボランティア体験の実施
「さいたま・ライブラリー・サポーターズ（通称リブサポ）」の名称で、新たにボランティア体験活動を実施しました。夏季休業を利用して、予約資料の回収や書架整理、本の修理、POP作成、ビブリオバトルの補助などの活動を行うもので、初年度の平成28年度は中央図書館1館のみで実施され49人の参加がありました。その後、平成29年度には6館で実施され112人の参加。平成30年度には11館で実施され153人の参加。令和元年度には、11館で延べ171人が参加、と年々増加しています。
- イ 市立小学校1年生全員への「としょ丸どくしよてちょう」の配付
読書記録をつけることにより、継続的な読書活動に結び付けることを目的として、市立小学校103校、特別支援学校2校の約11,000人の児童全員を対象に、毎年「としょ丸どくしよてちょう」を配付しています。なお、3～6年生向けの「としょ丸読書手帳」については、市内全館で館内配付を行っています。

裏面に
続きます

ウ 市立小・中・中等教育・特別支援学校への学級文庫用図書の貸出

希望する学年の全学級に1箱40冊の本を貸出する取組として、段階的に拡充しています。平成28年度には小学校20校64学級に2,560冊、中学校24校136学級に5,440冊を貸出しました。計画4年目にあたる令和元年度は、小学校45校145学級に5,800冊、中学校16校74学級に2,960冊、特別支援学校1校に50冊をそれぞれ貸出しました。

エ 学校図書館への情報提供

ICTを活用して市立図書館での取組を学校図書館に紹介し、学校での冬の読書キャンペーン実施等に資することがきるように情報共有を行いました。主な紹介事例は、「どくしょかんそう文におすすめブックリスト」、中学生向けブックトーク原稿、小学校1～2年生向けのおはなし会のプログラム例、冬の読書キャンペーンに際し開催したイベント事例、「学校司書お助けセット」、中国語資料、韓国語資料等です。

オ 保育所・幼稚園への団体貸出のPR

平成30年度には市内保育園・幼稚園等への訪問や招待を、100回7,870人を対象として実施するとともに、希望のあった園には、団体貸出を実施しました。

また、私立幼稚園協会を通して幼稚園に向けても、団体貸し出しのPRを行いました。

カ ブックリストの編集発行による、読み聞かせボランティアの支援

読み聞かせのポイントや所要時間など、読み聞かせの実践に役立つ情報や、集団への読み聞かせに適した図書を掲載したブックリストを平成29年度には創作絵本編『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』、平成30年度には知識絵本編『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』の合計2種類を作成・発行しました。

※上記のブックリストについては、次のURLからご覧になれます。

URL <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?1&pid=1281>

以上のア～カの実施状況についてどのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。

大いに評価する 評価する 評価しない まったく評価しない

評価の理由

{

}

図書館の活動報告詳細については、図書館要覧でご覧いただけます。

URL <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?3&pid=98>

④学校における推進活動

ア 全校一斉読書の実施

全市立小中学校で、朝の授業開始前の時間等を使って一斉読書を実施しています。

イ 学校図書館の活用

令和元年度の学校図書館の主な活用状況は、以下の通りとなっています。

	全校貸出総数	一人当たり 平均貸出数	市立図書館 借受数	学校間連携 借受数	学校図書館 利用時間
小学校	2,626,476	43.3	32,485	3,605	61,496
中学校	286,666	9.9	4,473	15,841	10,710
合計	2,913,142	31.2	36,958	19,446	72,206

ウ 学校図書館司書並びに司書教諭の全校配置

市内の全小・中・高・中等教育・特別支援学校における学校図書館司書・司書教諭の配置は、100パーセントとなっています。ともに連携しながら上記イに挙げた学校における読書活動推進や図書館を利用した授業等の推進を担っています。

エ 学校内における読書活動に関するボランティアの受け入れ

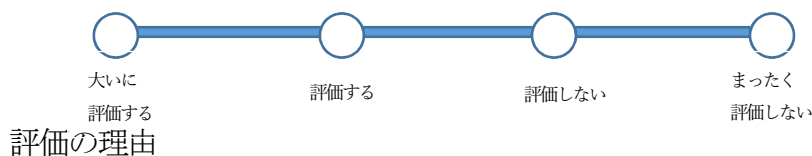
小学校における読書活動へのボランティアの受け入れは、全小学校の97.1パーセントに当たる101校で行われています。これは、全国平均の81.4パーセントを大きく上回っています。各校ともPTAや卒業生の保護者が中心となって、読み聞かせ、図書の修理、大型絵本の作成、読書郵便のボランティアなどを行っています。

中学校における受け入れ状況は、57校中6校・11パーセントにとどまっています。これは全国平均の30パーセントを下回っており、今後の充実が求められます。

オ 市立高等学校における市立図書館との連携

市内4校の高等学校の連絡会議を年度に2回行っています。ここには、資源共有ネットワーク上で連携している市立図書館の担当者も出席し、高校生の読書離れの対策について協議しています。主な取組として、高校生の読書調査アンケートの見直し、本の紹介パネルの交換展示、電子書籍PR、利用者カードの訪問登録、POPバトルの実施、冬の読書キャンペーン、県立高校との情報交換等を行いました。

以上のア～オの実施状況についてどのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。



裏面に
続きます

⑤保育所や幼稚園における推進活動

ア 保護者への読み聞かせの啓発

市内全61保育園で1日保育士体験・保育参加などの体験事業を実施しています。園児の保護者が実際に絵本の読み聞かせをすることを通して子どもと一緒に本に親しむ楽しさを体験してもらうことを目的としています。平成28年度1,043人、29年度798人、30年度1,089人、令和元年度1,062人の参加がありました。

イ おはなし会の実施

おはなし会では、わらべ歌や手あそび、紙芝居、絵本の読み聞かせ等を行っています。平成30年度には、図書館職員によるおはなし会を52園で実施、地域ボランティアによるおはなし会が33園で実施されました。

以上のア・イの実施状況についてどのようにお考えですか。当てはまる評価を○で囲んでいただき、評価理由についても御記入ください。

○ ————— ○ ————— ○ ————— ○

大いに 評価する 評価する 評価しない まったく 評価しない

評価の理由

{

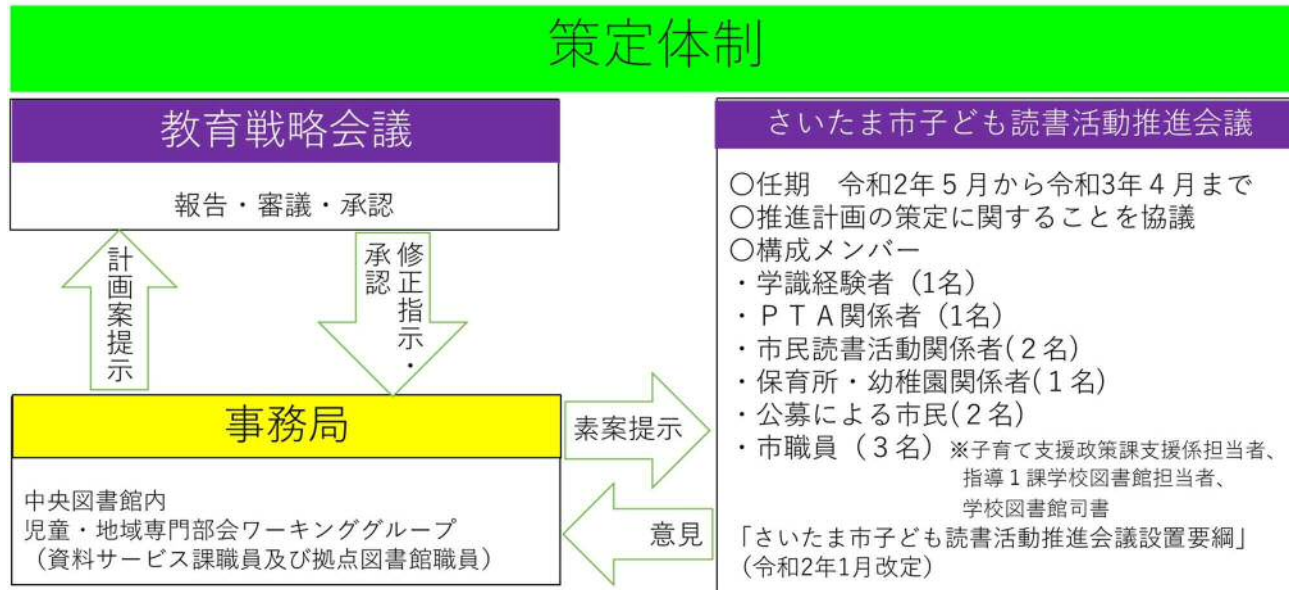
}

以上の6項目で、審議内容の評価は終了です。同封の返信用封筒にて6月19日（金）までに御返送くださいますようお願いいたします。

御多用のところ、御協力いただきありがとうございました。

さいたま市子ども読書活動推進計画策定体制及び推進会議の開催スケジュール

策定体制



推進会議開催スケジュール

第1回 6月中旬 文書会議にて開催

第2回 8月下旬に会議を開催予定

第3回 令和3年1月下旬に会議を開催予定

※会議開催の際は、文書等であらかじめご連絡申し上げます。